

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ムーブメントプラス吉野		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	しっかりと児童に向き合い、保護者とも真摯に向き合っていること。	計画書作成にあたり、保護者のニーズをしっかりと抑えとともに事業所内会議で積極的に従業員が意見を出し合い、建設的な議論を行っている。	児童に向き合うにあたって、様々な意見が出やすいように雰囲気づくりを気を付ける。
2	理学療法士が3名在籍しており、身体機能に関することに対して適切なアドバイスがいつでもできる点。 また、経験豊富な指導員も在籍しており、情緒面でのアドバイスや支援も網羅できており、バランスの良い事業所である事。	保護者がいつでも相談できるような雰囲気や環境づくりに努めている。	それぞれが専門分野の知識や技術をさらに身につける。 また、適切な資格などあればその補助を行い、積極的取得を支援する。
3	保育所等訪問も行っており、児童の学校での様子や支援を通じて、実際の事業所でも支援につなげて、問題点にアプローチが出来る。	保護者のニーズを正しく把握するために、聞き取りなどは時間をかけて丁寧に行っている。	今後も保育所等訪問支援との親和性を根気よく、学校と保護者に伝達していき、支援の質の向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが弱く、保護者とのイベントなどを行っていないこと	・そもそもの保護者のそのようなニーズが少ない様子。 ・イベントに人員を割くことに対する質の低下の懸念	既存の地域イベントなどにスポンサーなどの立ち位置で参加を行い、協力を行っていく。
2	安全管理計画や各種マニュアルを整備してあるも保護者の認識が乏しい。	掲示板に掲示するようにはしていたが、なかなか内容まで熟読される方が少なかった。	QRコードなども使用し、各自携帯でもみられるような周知を行っていく。
3	3人枠となるとどうしても1人1人のスペースが狭く感じている利用者が一定数いる。	人気の時間帯が集中してしまい、どうしても3人枠が出てしまうことがある。	・スケジュールの段階での提案などなるべく多くなりすぎないように調整していく。 ・限られたスペースの中でも満足感がある運動課題の構築。 ・近場の公園などを利用して、児童にあった活動を提供する。